

2025 年度全日本強化選手選考会北海道選考会 要項

【無観客で実施】

- 1 日 時 令和 8 年 1 月 31 日 (土) 9 : 00 ~
- 2 会 場 北海きたえーる柔道場 札幌市豊平区豊平 5 条 11 丁目 1 番 1 号 TEL 011-820-1703
- 3 主 催 一般社団法人北海道柔道連盟
- 4 協 力 北海道高等学校体育連盟柔道専門部 北海道高等学校体育連盟札幌支部柔道専門部
- 5 階 級 男子 : 90kg、100kg 女子 : 70kg、78kg
- 6 日 程 9 : 10 選手・監督入場  
9 : 20 計量 柔道場(男子)・更衣室(女子) ※ ~9 : 40 まで  
10 : 00 審判会議(柔道場)  
10 : 10 試合開始  
12 : 00 終了(予定)  
※開会式、閉会式(表彰式)は実施しない
- 7 参加資格 (1)選手は学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
(2)選手は北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒で、選考会の参加資格を得た者に限る。  
(3)2025 年度、北海道柔道連盟を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了した者。  
(4)2007 年 4 月 2 日以降に生まれた者(2025 年 4 月 2 日現在、18 歳未満であり、第 1・2 学年に在籍) 同一学年の出場は 1 回限りとする。  
(5)外国人留学生については、卒業を目的として入学していること(短期留学は認めない)。  
(6)各階級、選手数は 8 名とし、北海道柔道連盟から選出された者。  
令和 7 年度全道規模の大会と全国高校選手権北海道予選の結果等により各階級 8 名を選出し参加可能な者。  
選考対象大会は、北海道高等学校柔道大会・北海道ジュニア柔道体重別選手権大会・国民スポーツ体育大会北海道ブロック予選会・全国高等学校柔道選手権大会北海道大会を基本とする。なお、人数制限により参加できない大会もあるため結果に問わず推薦もある。
- 8 試合方法 (1)国際柔道連盟試合審判規程ならび北海道高体連柔道専門部申し合わせ事項による。  
ア 試合時間は 3 分間とする。  
イ「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差 2) 以上とする。  
ウ 試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が 1 以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。  
※「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。  
(2)試合はトーナメント戦で行い、敗者復活戦は行わない。

- 9 計 量 1月31日（土）9：20～9：40 北海きたえーる柔道場(男子)・更衣室(女子)
- 10 参 加 料 徴収しない
- 11 組合せ抽選 12月下旬に北海道柔道連盟強化委員により抽選を行い、北海道高体連柔道専門部 HP へ掲載する。
- 12 服 装 試合者は下記規格の白柔道衣を着用すること。
- (1)柔道衣について  
全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣を着用すること。
  - (2)帯について  
国際柔道連盟公認マークまたは全柔連認証番号ラベル(“JU”と4桁の数字が入ったラベル)がついている帯を着用すること。  
全柔連柔道衣規格合格品のリストは全柔連 HP を参照すること。  
柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。
- 13 ゼッケン 各自で下記の要領にて必ず縫い付けること。
- (1)布地は白色とし、苗字を上部 2/3、所属を下部 1/3 に記載すること。
  - (2)書体は楷書体とし、ゴシック体または明朝体を用いること。
  - (3)男子は黒文字、女子は赤文字とする。
  - (4)サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30 cm。
  - (5)後ろ襟から 5～10 cm 下部に縫い付け、対角線にも強い糸で縫い付けること。
- 14 そ の 他
- (1)皮膚真菌症（トンスランス感染症）について、発症の有無を各チームの責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。選考会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、選考会への出場ができない場合もある。
  - (2)選考会にて出場選手の傷害保険に加入し、その費用を負担する。
  - (3)選考会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。
  - (4)脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。  
選考会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。選考会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該選考会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)  
練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。  
上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事業課へ事故報告書を提出すること。
  - (5)紅白紐は出場選手が用意すること。
  - (6)表彰は行わない。